



どんな風が入ったのかと思えば...

とんだ
上玉では
なつか

こいつあ思わぬ
取極ですなあ
へっへっへっへ...

くっ...
犯せ...!

へっへっへ...悪いのお
そろは問屋が...

~~~~~  
~~~~~

えっ

菊門でも何でも
好きにするがいい!
既に洗淨済みだ!

私は絶対に
おちんぽに
屈したりなど
しない!!

な...何じゃ
此奴は!!

おっ

むに...♡

フフ...

まあ良し

フフ...

おっ...

そう言うなら
お望み通り
その清潔な菊門を
使わせてもらおうと
するか...

どれ...
具合は
どうかのお?

くっ...♡

声で
鳴くじゃあねえか
この助平女め

おっ...

おっ...

こりやあ
名器じゃ

おっ...

ちんぽに
吸い付きよる

ほれ
再開ける

おっ...

おっ...

おっ...

おっ...

おっ...

おっ...

おっ...

おっ...

おっ...

おおお
田の田の...

おはははは

おははは

おははは

年甲斐もなく
盛ってしまった
のう...

わしの優秀な子種を
菊門なんぞに
ぶちまけるんじや
光栄に思えん?

おははは

おははは

おははは

おははは

おははは

おははは

さあて...
お次は...

ぬ...!

何が...!!
体が...!!

フウ...
ようやく
効いてきたか

こんなことも
あろうかと舌裏と
菊門に痺れ薬を
仕込んでおいたのさ

じゃあねお代官様
アンタのちんぽ...
正直悪くなかったよ

おやおお...
お...おのれ...

おまんこも
したかったあ!

おちろん
私には
おかな

